

松浦物語 Matsuura Story

エミネントの商品は大自然と歴史・文化が育む長崎県松浦市で生み出されています
本誌ではエミネントの工場紹介と共に松浦と周辺の魅力をお伝えしていきます

winter
2021
No.2

Cover Photo
国・重要文化財
田平天主堂



にっぽんのいっぽん
こだわりの1/123
『腰プレス』
Matsuura History
長崎県立松浦高等学校
松浦の味
『岩元製菓舗』



Matsuura Story 松浦物語 2021 Winter No.2 (年4回発行予定)

東京都中央区日本橋「町町」9-18 TEL: 03-5695-2088



松浦の味



岩元製菓舗

手づくり餡と四季の菓子



掌の、小さなアート。

想いの詰まった
手しごと

地元で愛され続ける『岩元製菓舗』は、昭和18年から続く老舗の和菓子店。現店主の三代目啓晃さんは、京都の一流和菓子店「仙太郎」で修行積んだ。和菓子をもっと若い人にも親しみを持ってもらえるように、洋菓子の素材を取り入れたアレンジを加えたオリジナルの和菓子や、四季折々の旬の素材を生かしたお菓子を考案。数量限定販売の「甘玉」の数はどれもお昼には完売するという人気ぶりだ。地元産や生産者が明確な国産原材料を厳選。保存料は使用せず、できるだけ低添加。お子様も安心して食べられるよう徹底したこだわりをもって岩元製菓舗のお菓子は作られている。

金賞

銘菓 長崎かすてら

松浦市に隣接する江迎町・白岳高原で放飼された鶏の有精卵。産地が明確な天然はちみつ、腸に優しいグルテンの少ない小麦粉。卵の白身を減らし、黄身を増やして濃厚な味わいと色合いにこだわった三代渡り守り続ける味わい。素材にこだわり、焼きにこだわり、手間ひまを惜しまず一本一本丁寧に焼き上げられている。人工甘味料・保存料不使用。



金賞に輝いた、師父伝「長崎かすてら」しっとりとした濃厚な生地に、ほのかに香るハチミツの甘さが優しく口に溶け合う。



岩元製菓舗 松浦市志佐町浦免1276
☎ 0956-72-0331 定休日 / 不定休
営業時間 月～土曜日 8:30～19:30
日曜日 8:30～17:00



松浦市のいっほん
松浦市のいっほん
こだわりの1/123

『腰プレス』

山内 佳世子
(担当 34年目)



腰プレスは スラックスの「お化粧」



微調整はアイロンで行います

2回目となる今回は、スラックスの腰まわりをプレスする工程。丸みを帯びた腰まわりはエミネント商品において大事な特徴です。そんな腰プレスは、スラックスの「お化粧」と言えるかもしれません。

山内さんはエミネントで30年以上腰プレスを担当しています。

(山内) 入社してからほぼずっと腰プレスの担当をしてきました。きつと、腰プレスをやってきた年数で言ったら、日本一だと思えます。笑

仕事内容は主にプレス機械のプログラム調整です。蒸気量、加える圧力、プレスの時間を生地別に設定します。プログラムの調整がうまくいかないと手アイロンで修正作業をすることになるので、時間はかり掛かってしまいます。冬場の厚手の生地だとシワになりますので良いのですが、難しいのは夏物生地です。夏物素材は生地が薄いので、

(山内) ちょっと昭和から平成に変わる時でしたね。当時一緒に入社した人とは、今も一緒に働いていて仲良いです。結婚・出産で職場を離れた人も、また戻って来ることが多いです。高齢になってもみんな長く働いてますね。私くらい長い人も珍しくありません。

今日もエミネントのスラックスは、熟練した技でスラックスの腰まわりが「お化粧」されています。

みんな長く働いている働ける

(山内) ポケットやスボンの中に段差がつきやすく気を使います。ほとんどアイロンを使わずに、1回のプレスでパチッと決まると凄く達成感を感じます。



長く働く、働けることでエミネントの技は熟練されます
※撮影 2019年

松浦市唯一の高校 『長崎県立松浦高等学校』

設立年 1962年(昭和37年)
所在地 松浦市志佐町浦免738-1

生徒数 258名 ※令和2年度
普通科 171名
※2022年4月より普通科 → 地域科学科へ
全国に先駆け改変されます
商業科 87名

校訓 自己開拓に全力を注ごう
正しい人間関係をきずいていこう
良き市民性を身につけよう



新制服を生徒たち主導で実現 唯一無二の『松浦タータン』

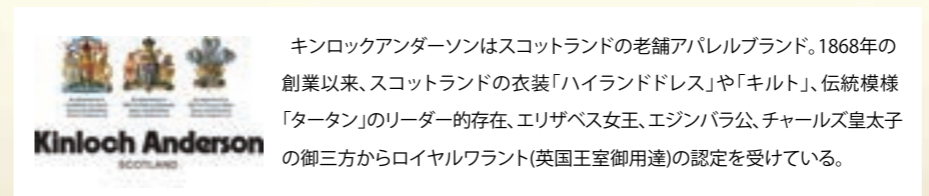


松浦タータン
matsuura tartan

松浦高校のスクールカラーである落ち着いたあるダークグリーンと、松浦の青い海をイメージした松浦市の色であるウルトラマリンブルーを組み合わせでデザインされたタータンチェック柄。

『世界にたった一つの制服を』松浦市と松浦高校がタッグを組み2018年より新しくなった制服。一連のプロジェクトを主導してきたのは、当時の松高の生徒たち。スカートとスラックスには英国王室御用達の認定を受けている老舗アパレルブランド キンロック・アンダーソン社が“新しい模様”として認定した唯一無二のチェック柄『matsuura tartan』を使用している。

制服は10種類以上のデザイン案から絞り込むためにファッションショーを実施、在校生はもちろん入学予定の地元中学生や地元市民にも共感を求めた。地場企業のコラボレーションとして、弊社も男子スラックスの製造を担っている。松浦市の色であるウルトラマリンブルーが入った世界でひとつだけのチェック柄など、学生を誇り高い「特別な松高生」にするための様々な仕掛けが施されている。先輩達の思いを受け止め、松高・松浦・そして長崎を支える人材を目指し学業に励む。



男子陸上部2年ぶり4回目の優勝 / 長崎県高校駅伝



11月5日、諫早市の県立総合運動公園周回コースで行われ、7区間42.2km2時間8分47秒で2年ぶり4回目の頂点に立ち、全国大会への切符を掴んだ。レースは7区間中5区間で区間賞を獲得し一度も先頭を譲らず、2位に1分40秒差をつけた。12月26日 京都・都大路で全国に挑む。

松浦タータン御守りで応援

エミネントは全国大会を走る選手に、地元松浦の神社にて必勝祈願をしてもらった松浦タータンのオリジナル御守りを製作し、松浦高校陸上部を応援しています。



2019年選手壮行会 ※エミネント職員も参加 松浦タータンの御守り